

介護体験を 聞く会



ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第218号

令和2年2月15日発行

発行所…(有) 明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-2333-0061

＊2月は28日(土)です

第215回介護 体験を聞く会 「定例会」

第215回
介護体験を聞く会

第215回
介護体験を聞く会

令和2年2月29日
(土)
三々五々館にて開催

議題

①事例検討にてデイサービスに行きたいと思える環境作りについて考えます。

②デイサービス、デイケア、グループホーム家族相談会

③デイサービス運営推進会議

参加者職員

院長、柳田ケアマネ、飯田、木山、溝上、工藤、吉田、川村
ご家族7名

《事例検討》

検討の目的
ご利用者をされてから2年半が過ぎ、デイサービスにも大分慣れてこれら馴染みの利用者さんもうが、ここ最近「行きたくない」と言われる事が多くデイサービスを休む事が増えています。Aさんにとって「行きたい」と思える環境を作るよう皆さんと意見交換しながら検討したいと思えます。

《生い立ち》

Aさん 昭和10年2月生まれ 女性 84歳
出身地…埼玉県
趣味…社交ダンス
性格…明るい、社交的、

几帳面
溝の口の医院で看護師をされ趣味の社交ダンスでご主人と出会ったそうです。
デイサービスの利用開始…平成29年6月
主介護者…ご主人 (次女一家は隣に在住)

《自宅での様子》

専用の座椅子に座り、テレビを観ながら1日横になって過ごされています。立ち上がるのはトイレに行く時だけだそうです。21時頃就寝され7時には起床されます。暖かい時期は、夜中に冷蔵庫からアイスクリームを取り出し食べている事が多かったようです。最近ではリハビリパンツを自ら脱いで洗濯機に入れてしまう為、ご主人が洗濯した時に大変困ったと話されています。

春の弥生のこの良き日♪ 雛飾りが完成しました！



《デイサービスでの様子》
送迎時は準備を整えて待つてくださる事もあれば、お化粧をされて準備に時間がかかる事もあります。ご自身が納得するまで時間を要するので、ご主人がしびれを切らせ口喧嘩をされる時があります。朝は到着され一息つくると計算プリントや漢字プリントに取り組み、その後元気に歌を唄い体操を行い積極的に参加されています。

かたにされています。食事は箸を使い主食・副食ともに完食され好き嫌いもありません。午後のプログラムではゲームにお誘いすると「はいはい」と積極的に参加され、利用者の皆さんの応援をしたり、大きな声で笑ったりと楽しそうな様子がかがえます。排泄に関しては朝の到着時にリハビリパンツが濡れている事が殆どで、定時にトイレ誘導を行います。「出ないわ」と言いながらトイレに行かれますが、パットが濡れている事が

丸める作業も皆でやれば苦にならず



・汗物や水分は後からに（流し込む様な食べ方をしないため）
・食事の前に果物を食べる事も方法の一つ。

・咀嚼回数が増え、早く食べる事になり、満腹感を得る為に沢山食べないとおさまらない。これを防ぐには一口入れたら100回程度咀嚼すれば時間も掛かるしあまり多くは食べられない。（始めは100回位から徐々に増やす）

多くなっています。尿意を感じ自らトイレに向かうこともあります。現在気になっていること
体重増加…利用開始時45kgから63kgと大幅な増加がみられます。
歩行…少し歩くと息切れがみられます。
義歯…話している最中に上義歯が外れてしまい口元を押さえて会話されています。
外出することが多くなりお迎えに行くとき義歯が見当たらず無い状態での利用が増えています。
尿臭…自宅でのリハビリパンツ・パットの交換が

頻回でないため、送迎の際に臭気を感じます。これから夏に向けて肌のたれなど心配です。

《今後について》
デイサービスの集団の中で楽しく過ごせるように環境作りに配慮していきたいと思えます。また、ご家族の介護負担の軽減につながるよう情報共有しながら取り組んでまいります。

《出席者の方から》
・体重増加は食事時間が早いのでは
・咀嚼回数が少ないと早く食べる事になり、満腹感を得る為に沢山食べないとおさまらない。これを防ぐには一口入れたら100回程度咀嚼すれば時間も掛かるしあまり多くは食べられない。（始めは100回位から徐々に増やす）

つ。但し夜は体が冷える。
・デイサービスでの昼食時に皆で数えながら食べてみては

《情報共有のために》
・ご主人だけでなく隣に在住している次女の方とも連絡を密にして次女の方からもアドバイスをもらい、生活改善に取り組んでみては。

以上皆様とさまざまなご意見交換する事が出来ました。

②デイサービス、デイケア、グループホーム家族相談会

(1)ご家族の支えによりご本人様が生活しやすい環境を作り、楽しく生活できる状態を多くする。そのためには各施設のスタッフも全力で取り組む。
(2)男性のご利用者様にはトイレ使用の際には座って用を足せるようにスタッフが付添い促して慣れさせてもらう。

デイサービス 運営推進会議

・デイサービスではご利用者様の飲み物の好み、座席の配置等色々な要望にも出来る範囲で対応します。

・(利用者)ご家族よりうちの人はデイサービスでの役割があり、「あれをしないやあいけないから」と言い、嫌がらずに楽しく言ってくれている。本人が役割を持ってもらうデイサービスはとても良いと思う。

・朝の迎や来所時間がご家族や本人の要望をすべて聞き入れてしまおうと9時30分のサービス提供開始までのスタートアップの配置が厳しくなってきたり、この問題を今後丁寧に



水加減も調度よい！

一つずつ対話をして解決していきたいと考えています。
・新型コロナウイルスの流行で当事業所は来所時洗面所で液体泡石鹸をつけて丁寧に手洗いをしていただきます。食事前はティンブルと手をアルコール消毒いたします。加湿と除菌のための機器をリース開始します。喚起を常にします。手すりや床は毎日除菌液で拭きます。

文責
グループホーム旭町
川村

なつかしい 「クリームあんみつ」

2月のある祝日のデイサービス、今日は利用者様と一緒に作るおやつ作りの日です。朝から利用者様から「今日は何を作るのですか？」と、皆様とても楽しみにしています。スタッフは「今日は、クリームあんみつを作ります。」と、お話しすると「わあ、うれしい。大好きなクリームあんみつが食べれるのね。」と、楽



しそうにお話しをして下さいました。さあ、利用者様と力を合わせてクリームあんみつ作りのスタートです。

白玉粉をこね、白玉団子にするグループ。また、缶詰を缶切りで開けて頂き、果物を小さくカットするグループ。また、盛り付けをするグループ等、皆様に参加して頂き、待ちに待った「クリームあんみつ」が完成しました。召し上がって頂く前に「あんみつ」の思い出をお話しして頂きました。利用者様から「昔は川崎の街に、仙台屋さんと言う甘味のお店があって、母と良くあんみつを食べに行っていました。母との思い出がいっぱいあり、なつかしいわ。」と、あんみつの思い出を語って下さいました。最後に、黒蜜をたっぷりをかけて、アイスクリームをのせて「いただきます！」皆様、笑顔で「あ、おいしかった。」と、ニコニコしながらお話しして下さいました。

雛飾りの髪の毛や目・口を書き入れるのは緊張します

季節の「おやつ作り」を、していきたいと思えます。柳田デイサービス 高橋慶子

桃の節句に向けて



去る2月14、15日の二日間でお雛様を作りました。3月になると直ぐに桃の節句です。デイケア室では当月の季節行事の創作と同時に、次月の季節行事の創作も行っています。先ず、始めにご利用者さんに完成品を見て頂くと「見せて、見せて。」と手に取る方や「あ、あら、折り紙で出来ているんだ。」と下からのぞき込んで「ディッシュ（お花紙）入ってるんだ。」と構造を見ている方など様々です。皆さんに見て頂いた後、早速作って頂くことにしました。折

り紙二枚で一体として、お雛様とお内裏様の分を四枚選んでいただきまして。「この色にはこの色合うかな？」「この色じゃなくてこの色がいいか。」と折り紙を並べて近くの方と相談したり、独りでつぶやいたり真剣且つ楽しそうに選ぶご利用者さん。無地で統一する方、柄物との組み合わせる方など同じ着物は一つたりともありません。それぞれ着物選びが終わり、二



仲間と塗れば大作完成！



枚を張り付けた後、折り紙を丸めながら形を作っていきます。ここまでは簡単です。苦戦されたのはここからでした。着物の裾にあたる部分を折り返し形付けていく作業が「ええっ！」「何これ出来ない。」「ちよっと、これでいいの？」と先程のウキウキした声とはちよっと違う声色です。ここはスタッフが少々お手伝いさせていただき無事に形が出来ました。ここまで来たならば、あともう少しです。頭部に着付ける

ように襟を重ねます。襟の重なる手前は左右前になる襟を間違えない様に皆さんとしつこく確認し糊付けしました。髪の毛、表情をつけ、冠、扇、烏帽子、尺を張り付け完成しました。「可愛いね。」「あら、いいじゃない。」「お互いの作品を褒め合ったり「玄関の所に飾るといいわね。」と飾った時の様子を想像されたりと皆さん自然と笑みがこぼれていました。可愛らしい表情のお雛様は、リハビリスペースから皆さんをそっと見守ってくれているようです。

柳田ディケア

三浦

節分の催し

年中行事の一つである『節分豆まき』毎年利用者の皆さんが大いに盛り上がる行事です。「鬼は外」「福

は内」の掛け声とともに鬼に扮した職員に力の限り豆を投げ歓声をあげます。

当グループホームでは大豆の代わりに小袋に入った甘納豆を使い、終了後に職員が回収して皿に取り分けて3時のおやつで皆さんのお腹の中に入ります。

伝統的行事ですので以前は大豆を使用して行いましたが、ご利用の皆さんの中には「食べ物に投げる物ではない」とおっしゃったり、豆をまく時に鬼ではなくご自分の口の中へ撒く方も見受けられました。また、床に散らばった大豆は当然回収し廃棄する事となるため、確かにもったいない事でもあり、回収もれの豆がいつまでも残ってあれば衛生上の問題もあるとのこと、小袋に入れた甘納豆の使用になったそうです。今回は豆撒きに必要なお面作りについて紹介します。

製作に取り組み、個性あふれるお面が出来あがりました。

通常は鬼と言えは赤鬼・青鬼が定番ですが、日頃より塗り絵で鍛えた腕を駆使して頭は虹色の髪の毛、顔は歌舞伎のような赤い太い線を大胆に書き入れるなど、今までに見たことの無い怖くて面白いお面が出来ました。

皆さんの気分は節分になっていった様子で「どの色を使う？」「この色は合わない」「もっと色を増やせば」などと、にぎやかに楽しく作りながらご自身でお面をつけて他の利用者皆さんの周りを歩く方もいらっしゃり、歓声に包まれ無事にお面作りが終了し、当日を迎えることができました。



塗り始めると皆の手が集まる！立ち上がる！

る様に職員一同協力して進めて行きたいと思っております。

グループホーム旭町 関